

# 静岡新聞

平成 19 年 10 月 26 日(金)朝刊

## 新品種を売 来春発売

キリンアグリバイオ

ガーベラ、バラ

キリングループの花き品種開発・販売「キリンアグリバイオ」(東京)の松尾学社長は二十五日、浜松市西区で行われた同社花き商品開発センター開所式に出席した際、静岡新聞社の取材に応じ、花を長時間楽しめ

るガーベラ「フルーツケガーデン」は淡いオレンジ色「キ」や育てやすさと美しさを兼ね備えたガーデニング用のバラ「キリンローズス ガーデン」の苗を来春、発売することを明らかにした。同社は新品種投入でシェア拡大を図る。

花は受粉すると枯れてしまいが、フルーツケキは花粉がないのが特徴。受粉することがなく、長持ちする。通常のガーベラに比べて一・五二倍の期間、花が咲いているという。同社の県内でのガーベラのシェアは35%。同品種などでシェア50%を狙う。

「キリン ローズス

ガーデン」は淡いオレンジ色などの花を楽しめる。苗で販売し、一般の園芸愛好家でも容易に栽培できる。

新品種の普及策について松尾社長は「花き商品開発センターで営利生産者向けの技術講習会や一般対象のフラワーアレンジメント教室を開きたい」と述べた。



ガーベラやバラの新品種発売の方針を明らかにした松尾社長。浜松市西区の浜名湖ガーデンパーク